

2021BMCN 年次大会 参加者募集のお知らせ 〈継承語教育と現地語教育を考える－理論・実践・政策－〉

バイリンガル・マルチリンガル子どもネット(BMCN) 主催
セッション1&3 国際交流基金 共催

BMCN の活動に関心をお寄せいただき、ありがとうございます。

本年も、下記の通り、年次大会（昨年まで研究会としていたもの）を開催する運びとなりました。

大会のテーマを〈継承語教育と現地語教育を考える－理論・実践・政策－〉とし、昨年 BMCN が開催した国際フォーラムの内容を踏まえ、それをさらに進展させたものとなっております。

また、本年の年次大会は、一部を除き、国際交流基金（JF）との共催となっております。2日目午前の実践ワークショップは BMCN 単独での開催であり、会員向けのセッションです。このセッションへのご参加を希望される方は、是非これを機に会員登録をご検討ください。なお、個人会員向けの交流会も予定しております。

新型コロナウイルスの感染が収まらないことから、本年も zoom での開催となります。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※参加申込みフォームはこちら：<https://forms.gle/iTXc6G8ZVcKQMvg88>

※BMCN 会員への登録をご希望の方はこちら：<https://www.bmcn-net.com/bmcn%E4%BC%9A%E5%93%A1>

2021BMCN 年次大会 概要

- ◆日時（日本時間）：2021年9月11日（土曜日）セッション1 9:30～16:15
パート1 9:30～12:00
パート2 14:00～16:00
12日（日曜日）セッション2 9:30～12:30
セッション3 20:00～22:00

◆開催方法：オンライン開催（Zoom 会議システム）

◆参加対象：一般公開（ただし、2日目のセッション2は BMCN 会員限定）

◆定員：1日目セッション1 = 300名

2日目セッション2 = 65名（BMCN 会員限定）

2日目セッション3 = 300名

◆参加費：無料

お問い合わせ

年次大会に関すること Email：2021bmcn@gmail.com

その他 BMCN に関すること

Email：bmkodomonet@gmail.com（事務局：鈴木庸子・澁川晶・高橋悦子）

BMCN ウェブサイト <https://www.bmcn-net.com/>

◆プログラム概要：

2021BMCN 年次大会テーマ：＜継承語教育と現地語教育を考える－理論・実践・政策－＞

1日目：9月11日(土曜日)

セッション1(BMCN・JF 共催)

1. 9:35～9:40 開会あいさつ

2. 9:40～10:00 趣旨説明 中島和子 (BMCN 会長)

3. 10:00-12:00 **【パート1】講演**

「現地語と継承語：複数言語環境で育つ子どもへの指導ストラテジー」

講師：ジム・カミンズ (トロント大学名誉教授)

司会進行：真嶋潤子 (大阪大学名誉教授)

討論者：佐藤郡衛 (国際交流基金 日本語国際センター所長)

※討論および質疑応答は逐次通訳で行います。

逐次通訳：佐野愛子 (立命館大学)

奥村安寿子 (一橋大学)

【概要】

日本では、外国人児童生徒の継承語を保持するメリットが学校や社会において十分に理解されておらず、親の母語による子育てを推奨している自治体も極めて限られています。このような状況の中で、現地語、継承語の双方を伸ばす重要性や、そのための有効な指導ストラテジー(例：トランスランゲージング)とされる Crosslinguistic Pedagogy について、カミンズ氏にお話しいただきます。

それに加え、教師が主体となって複数言語環境で育つ子どもの継承語・継承文化の価値を吊り上げるための変革的マルチリテラシーズ教育学について、詳しくお話しいただきます。日本の外国人児童生徒教育や、海外子女教育研究の第一人者であり、ご著書でも変革的マルチリテラシーズ教育学の重要性に言及されている佐藤郡衛氏に、討論者としてご登壇いただきます。

会場から質問を受ける時間も設けております。

概要につきましては、プログラムサイトをご覧ください。

(<https://www.bmcn-net.com/nenjitaikai>)

4. 14:00-16:00 **【パート2】パネルディスカッション**

「北欧における継承語教育への公的支援と多様性への対応」

1. 北欧における継承語教育の概要 (10分程度)

熊谷容子 (スウェーデン、ダーラナ大学)

早川雅子 (スウェーデン、ダーラナ大学)

匠瑤佐知子 (フィンランド、ヘルシンキ大学)

2. 実践報告 (各発表 15～20分程度)

テーマ1：北欧の公教育における継承語支援

発表1「学校教育の中で行われる母語教育とその実施内容」

大木ひさよ (スウェーデン、ストックホルム教育管理局)

発表2「母語学校における日本語クラス－他言語学習者との関わりによる動機付け－」

鈴木理子 (デンマーク、コペンハーゲン市立母語学校)

テーマ2：日本語で広がる子どもの世界

発表3「日本語で身近な環境を家族で知って楽しもうー『森で遊ぼう』の取り組みー」

阿久根佐和子（スウェーデン、森で遊ぼう主宰）

発表4「複言語・複文化主義を目指してー日本語教室での実践報告ー」

安田久美子（ノルウェー、オスロマルチリンガル日本語教室主宰）

2日目：9月12日（日曜日）

セッション2（BMCN 会員限定）

9：30-12：30 継承日本語教育実践ワークショップ

「国語教育でもない、外国語としての日本語教育でもない＜継承日本語教育＞とは？

ー海外で継承語を育てる親や教師のためにー」

講師：ダグラス昌子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校名誉教授）

【概要】につきましては、プログラムサイトをご覧ください。

2021年度年次大会ホームページはこちら <https://www.bmcn-net.com/nenjitaikai>

【BMCN 個人会員交流会】（BMCN 会員限定）

19：15-19：45

個人会員の皆さんとの顔合わせと、相談室や既存の分科会の説明および新たな分科会のアイデアについて意見交換を行います。ご自由にご参加ください。なお、詳細につきましては、後日お知らせいたします。

セッション3（BMCN・JF 共催）

20：00-22：00

「国際交流基金との連携 ー海外で育つ子どもの継承日本語教師・親の立場から」

全体司会：カルダー淑子（BMCN アドバイザー）

1. 20:00-20:15 「趣旨説明と実態調査について」

村田春文(国際交流基金日本語第1事業部長)

2. 20:15-20:25 「『日本語教育推進法』に関する国際フォーラム：グローバル人材を育む国内外の継承語教育推進のために」の成果について

桶谷仁美（オンライン国際フォーラム実行委員長）

3. 20:25-21:50 国際交流基金への要望に関するディスカッション

「海外在住の子どものための継承日本語教育ー緊急を要する要望、中期的・長期的要望」

A. 20:25-21:15 「緊急を要する要望と現場の声」

i. 教師団体の立ち上げ・ネットワーク・実態調査

トムソン木下千尋（豪州ニューサウスウェールズ大学教授）

ii. 保護者から教師になった人材のための教師研修

岸水ひろみ（米国オレンジコースト学園教務主任）

iii. 家庭と自助グループが支える継承語の育成

大皿恭子（韓国ブندان日本語補習授業校 運営代表）

iv. 継承語教育のためのポータルサイトに含めたいことは？

フックスー清水美千代（ヨーロッパ日本語教師会 SIG「ヨーロッパ継承日本語ネットワーク」
代表、バーゼル日本語学校名誉教諭、スイス継承語ネットワーク代表）

v. （ゲスト）学習意欲を高めるイベントの開催

エリーザ・マイア（在名古屋ブラジル総領事館・教育文化担当副領事）

ルジア・ミヤ・タナカ（プロジェクト・コンストゥルイール・アルテル「継承ポルトガル
語教室・子ども食堂」代表、スザーナ・ヴェントウーラ記念ブラジル子ども図書館代表）

B. 21:15-21:50「中期的・長期的に取り組むべき課題についての意見交換」

司会：カルダー淑子（BMCN アドバイザー）

4. 21:50-22:00 議論のまとめ

村田春文（国際交流基金日本語第1事業部長）

中島和子（BMCN 会長）

※今年度は、ポスター発表・相談デスクは行いません。

※ご参加にあたってのお願いとお知らせ

1. 年次大会当日は、2日目の BMCN 個人会員交流会を除いたすべてのプログラムを録画し、後日 BMCN のサイトに掲載し会員が閲覧できるようにいたします。今回のイベントは国際交流基金と BMCN の共催となります。イベントに参加される皆様の個人情報は国際交流基金、BMCN それぞれのプライバシーポリシーに則り収集し、個人が特定されない形にして、今後の事業改善や政策提言等に使用させていただきます。セッション3につきましては、BMCN とは別に、国際交流基金が収集した情報や録画映像を、ウェブサイト等にて公開することがあります。また、内容を損なわない範囲の修正、編集を行い、発言等を報告書等でご紹介する場合がございます。あらかじめご了承ください。

→BMCN のプライバシーポリシーはこちら

https://d1a46a2c-154e-4c4c-9d69-32b4de3d3bd7.filesusr.com/ugd/114411_e3641dd8d2e34921b3877eab14bf965f.pdf

→国際交流基金の情報の取り扱いについては基金の「個人情報保護への取り組み」

<https://www.jpf.go.jp/j/privacy/index.html> に基づき、基金ウェブサイトに掲載予定です。

2. **募集は 8 月 31 日(火)(日本時間)を締め切り**といたします。なお、応募者が定員となったセッションにつきましては、8月31日を待たずに順次募集を締め切らせていただきます。
3. カミンズ氏の 8 月 31 日刊行予定の新刊本の詳細はこちらです。
<https://drive.google.com/file/d/1vw6TyO57oVzXzPGP5721Rt945xV1Sgti/view?usp=sharing>
4. カミンズ氏のご講演で触れていただく予定の「変革的マルチリテラシー教育学」を日本語で紹介したジム・カミンズ著/中島和子訳著『言語マイノリティを支える教育』（2011年、慶應義塾大学出版会、絶版）の新装版が、明石書店より9月11日に刊行されます。

5. セッション3に関する事前アンケートへのご協力をお願い

セッション3：国際交流基金（JF）への要望に関するディスカッション「海外在住の子どものための継承日本語教育—JFへの緊急を要する要望、中期的・長期的要望」のために、継承日本語教育に関する事前アンケートを実施いたします。主に海外で継承日本語教育に携わっている方々、携わった経験がある方々を対象としております。広く、ご意見をお寄せいただきたくご協力をお願い申し上げます。

回答受付締め切り=8月31日(火)(日本時間)

セッション3に関する事前アンケートはこちら→ <https://forms.gle/PhbPG6FwJ82di83S9>

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

バイリンガル・マルチリンガル子どもネット会長 中島和子

2021BMCN 年次大会実行委員：

セッション1 & 2：拝野寿美子（委員長）・高橋悦子・武田知子・福川美沙

セッション3：桶谷仁美（委員長）・カルダー淑子・高橋悦子・ダグラス昌子・嶽肩志江・武田知子
（委員長以外は50音順）